



# いざなぎ学園だより

2023.11/29

## ◆令和5年度 淡路文化会館「いざなぎ学園」第20回講座◆

令和5年11月29日(水)「いざなぎ学園」第20回講座、午前中は、サークル活動A6(音楽・シニアスポーツ・詩吟・PC初級・ふるさと学・民踊・美術)、教養講座8講談「徳川家康、天下獲りへの選択」(講師:上方講談師 旭堂南海氏)が行われました。



### ◎学園生のみなさんの感想 振り返りシートから(抜粋)

・講談を聞くのは初めてです。独特の調子と張り扇のパンパンという音に引き込まれました。声がよく通り、とっつきにくい歴史物語をさも見てきたかのように話され、そのリズムカルな話芸に魅了されました。講談のおもしろさや魅力を知ることができました。心が明るくなりました。

・いつも楽しみにしている講座、今回も楽しく拝聴しました。方広寺の釣鐘「国家安康」の事件は遙か昔、学校で習ったことを思い出しました。もっと歴史を勉強しておけばよかったと思うばかりです。来年も旭堂南海先生の講座を楽しみにしています。ありがとうございました。

・目標を達成するために「堪忍袋、破れたら縫う」という言葉が印象的でした。良い言葉ですね。私も見習いたいと思います。前半のお茶会のお話、「御所柿は一人熟して落ちにけり」、家康の院政、そして真田幸村と大坂の冬の陣、夏の陣。多方面からの切り口で、面白くておかしくて大いに笑ってしまいました。これくらい人を魅了する話ができたら素晴らしいと思います。格調高いお話を楽しく拝聴させていただきました。また、お聞きしたいです。

・家康の天下獲りのエピソードを楽しく、テンポよく心地よい声で拝聴しました。「目標を持ったものが一番強い。」「価値基準が同じなら争いにならない。」「目標を持ち、その目標に向かって進むには堪忍袋を持ち、破けたら縫う。」小さなことに腹を立てない。人の価値は考え方で違ってくる。おおらかな気持ちが必要だと思いました。

・旭堂南海先生の講談を楽しみにしていました。「ここだけの話」という話。本当ならこんな面白いことはありません。講談は歴史の勉強になるし、また笑うことは体にいいですね。旭堂南海先生の声は聴いていて快いですね。楽しいひと時を過ごすことができました。ありがとうございました。